

(関係者各位)

2020年6月11日
株式会社シノプス
代表取締役 南谷 洋志

消費者庁「消費者白書」に掲載 ～食品ロス問題の解決に向けた事例としてシノプスを紹介～

消費者庁が6月9日に公表した令和2年版消費者白書に、株式会社シノプス（本社：大阪府大阪市、代表取締役：南谷洋志、以下「当社」）が掲載されました。

同書は政府が講じた消費者政策の実施の状況についての報告として平成25年から取りまとめが開始され、令和2年版は第201回国会（常会）に提出されたものです。

消費者問題の動向と消費者意識・行動、消費者政策の実施の状況をまとめ、特集として「つくる責任、つかう責任、減らす責任～食品ロス削減～持続可能な社会のために～」を掲載しています。

当社は、第2章 第2節「食品ロス問題の解決に向けて」の事例として取り上げられ、日配食品・パン・惣菜にも対応した小売事業者向け需要予測型自動発注システム「sinops-R6」やその導入効果が紹介されています。当社の掲げる「世界中の無駄を10%削減する」というビジョン実現に向けて、今後も「sinops」による在庫の最適化という側面から食品ロス削減に寄与することを目指します。

■消費者庁「消費者白書」URL：

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_research/white_paper/assets/2020_whitepaper_all.pdf

■sinops について

sinops は流通業の粗利益とキャッシュフローの向上を支援する需要予測型の自動発注システムとして、年間で約 2.2 兆円超の自動発注を行っています。私たちは sinops をただのシステムではなく、ひとりの社員として考えています。その社員がお客様のもとで、在庫に関わる人・もの・金・時間・情報の最適解を導き、無駄を削減します。sinops は 5 つの性格を持っており、ときには先生のように、ときには先輩のように、ときにはライバルのように、ときには恋人のように、ときには母親のようにお客様に寄り添い、パートナーとしてサポートし続けます。sinops はお客様とともに様々な経験を積むことにより、お客様が理想とする社員へと、どんどん成長していきます。

like a teacher,

ときには先生のように
専門的な立場から指導し



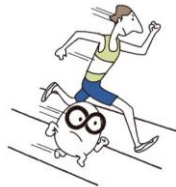
like a superior,

ときには頼れる先輩として
的確にアドバイス



like a rival,

ときには良きライバルのように
一緒に切磋琢磨し



like a lover,

ときには恋人のように
成果を褒めてくれ



like a mother,

ときには母親のように
あたたかく見守る



■株式会社シノプスについて

株式会社シノプスは「世界中の無駄を 10%削減する」をビジョンに掲げ、流通業向け自動発注・在庫最適化ソリューション『sinops(シノプス)』を開発・販売しているソフトウェアメーカーです。あらゆる無駄は“在庫”に起因するという信念のもと、IT ソリューションによって“人”・“もの”・“金”・“時間”・“情報”といった限りある資源を最適化することで、社会に貢献していきたいと考えております。

商号 : 株式会社シノプス
代表者 : 代表取締役 南谷 洋志
所在地 : 大阪府大阪市北区梅田一丁目 12 番 12 号
東京建物梅田ビル 5 階
設立 : 1987 年 10 月
資本金 : 408 百万円
URL : <https://www.sinops.jp>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社シノプス 管理部 経営企画室
Email : ir@sinops.jp
お問い合わせフォーム : <https://www.sinops.jp/contacts>